

品名	主成分	主溶剤	有効成分 %	特徴	標準添加量%	適用樹脂系										備考			
						水溶性系	ハイブリッド系	エマルジョン	弱溶剤系	アクリル	ウレタン	エポキシ	ポリエステル	アルキッド	フッ素・シリコン	UV系	TXフリー ※1	PRTR法対象外	
BYK®-405	ポリヒドロキシカルボン酸アミド	キシレン/アルキルベンゼン/イソブタノール	52	親水性ヒュームドシリカと併用すると、網目構造を形成し、チキソ性を付与する。粘度の経時安定性が高い。ヒュームドシリカに対して20~40%添加。	0.2-1.0				●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	-
BYK®-410 / 7410 ET	変性ウレア	N-メチルピロリドン / アマイドエーテル	52 / 40	液状で後添加が可能。攪拌しながら系に加える。チキソ性を付与し顔料の沈降およびたれ止め防止に著効。アルミやマイカの沈降防止にも有効。	0.1-2.0 / 0.2-3.5					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
BYK®-411 / 7411 ES	変性ウレア	N-メチルピロリドン / アマイドエステル	27 / 25	樹脂と会合してチキソ性を付与し沈降防止およびたれ止め性が向上、着色系でのクリアー分離(ニス浮き)を低減。後添加での補正に最適。	0.2-2.0 / 0.2-2.0				●					●				●	●
BYK®-415	高分子ウレア誘導体	ジメチルスルホキシド	30	温度安定性のある粘度特性を有し、強制乾燥および焼き付け系のたれ止め性を向上する。ペル塗装の場合はBYK-430との併用で流動性とたれ止め性の最適化が可能。	0.5-4.0					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
BYK®-420 / 7420 ES	変性ウレア	N-メチルピロリドン / アマイドエステル	52 / 40	水系塗料にチキソ性を付与し、沈降防止及びたれ止め性が向上。塗料のpHが変化しても粘性が変わらない。後添加による粘度調整が容易。	0.3-3.0	●	●	●										●	●
BYK®-425	ウレア変性ウレタン	ポリプロピレングリコール	50	水系塗料に擬塑性流動を付与し、たれ防止の向上、沈降防止効果も期待できる。バインダーとの相互作用で粘性を発現する。後添加による粘度調整が容易。粘度のpH依存性がない。	0.1-1.5	●	●	●										●	●
BYK®-430	ウレア変性中極性ポリアמיד	イソブタノール / ソルベントナフサ	30	溶剤系塗料に擬塑性流動を付与し、たれ防止、沈降防止効果が期待できる。重防食エポキシ系に有効。液状で取り扱い容易。層間密着性への悪影響なし。中極性向き。	0.1-3.0					●	●	●						-	-
BYK®-431	ウレア変性低極性ポリアמיד	イソブタノール / モノフェニルグリコール	25	溶剤系塗料に擬塑性流動を付与し、たれ防止、沈降防止効果が期待できる。建築、工業用、自動車に有効。液状で取り扱い容易。層間密着性への悪影響なし。低極性向き。	0.1-4.0				●	●	●	●		●	●			●	●
OPTIFLO® H600 VF	ノニオン系疎水性変性ポリマー	水	15	会合型レオロジーコントロール剤。アクリル、ステレンアクリル、酢酸ビニル共重合体の各エマルジョンの増粘に効果的。	1-3	●	●	●										●	●
OPTIFLO® H3300 VF	ノニオン系疎水性変性ポリマー	水	17.5	会合型レオロジーコントロール剤。低シアでのずり応力の向上に効果あり。	1-3	●	●	●										●	●
OPTIFLO® L100	ノニオン系疎水性変性ポリマー	水	20	会合型レオロジーコントロール剤。高シアでのずり応力の向上に効果あり。	1-3	●	●	●										●	●
OPTIFLO® M2600 VF	ノニオン系疎水性変性ポリマー	水	40	会合型レオロジーコントロール剤。アクリル、酢酸ビニルだけでなく、アルキド系樹脂、ウレタンディスパージョンでも効果あり。	0.2-0.8	●	●	●										●	●

(注)この資料は弊社の経験により最善と考えられるものですが、個々の塗料系については充分テストの上御使用下さるようお願い申し上げます。なお、一覧表に記載されていない製品につきましてはお問い合わせ下さい。
 ※1 製品の配合上はトルエン・キシレンを含んでおりません。